

学内グラント 報告書

平成25年度 学内グラント終了後報告書

高濃度酸素暴露マウスを用いた新生児慢性肺疾患長期合併症の
病態解明と治療法の開発

研究代表者 難波 文彦（総合医療センター 小児科）

研究成果リスト

論文

- 1) 難波文彦. 病態一出生後因子とその対応 ②酸素障害. 最新版 慢性肺疾患. 周産期医学(東京医学社) 2014; 44(8): 1053-7.

学会発表

- 1) Namba E, Ito M, Ogawa R, Arai Y, Go H, Kato I, Dennery PA, Tamura M. Long-term effects on lung function and identification of a novel biomarker, HAPLN-1, in neonatal hyperoxic lung injury in mice, Pediatric Academic Societies Annual Meeting, 2015/5, San Diego
- 2) 難波文彦, 小川 亮, 伊藤誠人, 新井幸男, 郷 勇人, 加藤稲子, 田村正徳. 動物モデルを用いた新生仔期高濃度酸素暴露の長期的影響と肺傷害修復過程における重要分子の同定, 第59回日本未熟児新生児学会, 2014年11月, 松山
- 3) 難波文彦, 小川 亮, 加藤稲子, 側島久典, 田村正徳. 当科研究部門における新生児慢性肺疾患研究の立ち上げとその現状, 第58回日本未熟児新生児学会, 2013年11月, 金沢

講演

- 1) 難波文彦. CLD研究最近の話題－感受性遺伝子解析から動物モデル, 臨床研究まで－. 第27回慢性肺疾患研究会, 2014年10月, 大阪

獲得研究費

- 1) 2015年度 川野小児医学奨学財団研究助成(一般枠). 『新生仔期高濃度酸素暴露の長期的影響と肺傷害修復過程における重要分子HAPLN1の同定とその機能』.
主任研究者: 難波文彦.
- 2) 2015年度 新生児臨床研究ネットワーク研究活動助成事業助成金. 『新生児慢性肺疾患全国調査2015』.
主任研究者: 難波文彦.
- 3) 2014年度 厚生労働省科学研究委託費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業). 『低出生体重児の発症機序及び長期予後の解明に関する研究』.
分担研究者: 難波文彦.
- 4) 2014年度 文部科学省科学研究費(若手B). 『高濃度酸素暴露マウスを用いた新生児慢性肺疾患長期合併症の病態解明と治療法の開発』.
主任研究者: 難波文彦.